

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）事後評価シート

計画の名称	市民が満足する安全・安心で歴史と緑にみちたまちづくり		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	刈谷市
計画の目標			

刈谷市緑の基本計画の「緑の将来像図」において、積極的な緑の保全・創出を図る「緑の拠点」や「歴史保全エリア」などとなっている公園等の整備を行い、市民が満足する安全・安心で歴史と緑にみちたまちづくりを目指す。また、刈谷市では設置後20年以上経過した街区公園が約80%を占めており、老朽化した公園施設や安全基準を満たさない遊戯施設が顕著であることから、その改築を行い、公園利用者の安全・安心の確保と公園施設に係るトータルコストの低減を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・「刈谷市の公園と緑地が充実していると思う」市民の割合を70.3%（H24末）から77.0%（H29末）に増加させる。
- ・「刈谷市の歴史に関心がある」小学生・中学生の割合を35.4%（H24末）から40.0%（H29末）に増加させる。
- ・住民一人当たり都市公園面積を8.47㎡/人（H24末）から8.80㎡/人（H29末）に増加させる。
- ・公園施設長寿命化計画に基づく改築を行った遊戯施設の割合を30.9%（H25末）から63.2%（H29末）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

① 「刈谷市は公園と緑地が充実していると思う」市民の割合。 ・刈谷市内在住の20歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人を対象にアンケート調査を実施する。 ・「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合。	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	備考						
	70.3%	75.0%	77.0%							
② 「刈谷市の歴史に関心がある」小学生・中学生の割合。 ・市内の小学5年生及び中学2年生を対象にアンケート調査を実施する。 ・「ある」「どちらかといえばある」と回答した小学生・中学生の割合。	35.4%	37.7%	40.0%							
③ 住民一人当たり都市公園面積（㎡/人）を算出する。 ・都市公園総面積（㎡）/刈谷市人口（人）	8.47㎡/人	8.67㎡/人	8.80㎡/人							
④ 公園施設長寿命化計画に基づく改築を行った遊戯施設の割合を算出する。 ・改築を行った遊戯施設数/改築が必要な遊戯施設数	30.9%	39.8%	63.2%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,810百万円	A	1,539百万円	B	0百万円	C	271百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	15.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価 フォロワーアップ報告）の実施体制	事後評価 事業終了後
市内部で検証し、学識経験者に意見を求め評価を実施した。	公表の方法 刈谷市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
A-1	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	都市公園事業（亀城公園）	園路広場、駐車場、体験学習施設等整備3.9ha	刈谷市						648	計画
														182	実績
A-2	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	都市公園事業（岩ヶ池公園）	用地買収2.4ha、便益施設等整備3.2ha	刈谷市						771	計画
														451	実績
A-3	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	公園施設長寿命化対策支援事業（刈谷市）	洲原公園他37公園における複合遊具の改築等	刈谷市						120	計画
														120	実績
											計画合計	1,539			
											実績合計	753			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・亀城公園の再整備及び岩ヶ池公園の整備をはじめとした公園の整備等により、公園と緑地が充実していると思う市民の割合が増加した。 ・亀城公園の再整備、体験学習施設の整備を進めたにより、歴史に関心がある小中学生の割合が増加した。 ・公園施設長寿命化計画を活用し、公園施設にかかるコストの低減、平準化を図り、計画的に老朽化した公園施設や安全基準を満たさない遊戯施設等の改善等を進めたことにより、公園利用者の安全性が高まった。
--	--

<p>II 定量的指標の達成状況</p>	<p>指標①（本市の公園と緑地が充実していると思う市民の割合）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>77.0%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>・亀城公園の再整備や岩ヶ池公園の整備など大規模な整備を一部進めたことにより、一定の効果を得ることができた。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>71.4%</p>		<p>・シンボリックな公園及び歴史に関する体験学習施設の整備の進展により、当初の予測以上に子どもたちの関心が高まっていると考えられる。</p>
	<p>指標②（本市の歴史に関心がある小学生・中学生の割合）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>40.0%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
		<p>最終実績値</p>	<p>43.6%</p>		
	<p>指標③（住民一人当たり都市公園面積（㎡/人））</p>	<p>最終目標値</p>	<p>8.80㎡/人</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>・最終目標値の設定に当たり、本計画における整備に加え市単独による整備も想定し目標値の設定を行っていたが、市単独の事業が実施できなかったため、目標値に至っていない。ただし、市単独の整備を除いた場合では、公園施設長寿命化計画通りに事業は進行しており、目標とした整備は達成できているとともに、当初の30.9%に比べ20%以上整備率は上昇しており、大きく進展している。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>8.58㎡/人</p>		
	<p>指標④（公園施設長寿命化計画に基づく改築を行った遊戯施設の割合）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>63.2%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
		<p>最終実績値</p>	<p>52.3%</p>		

<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p>	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成していくためには、亀城公園の歴史を感じられる再整備や岩ヶ池公園の整備など、整備効果の高い事業を引き続き実施していくことが必要である。 ・歴史博物館を整備進めることで一定の効果が得られた。その効果を持続し、さらに高めていくには、整備した施設の活用を図るとともに、亀城公園の再整備など、地域特性や歴史を活かした魅力ある公園整備を進めていく必要がある。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改築により遊戯施設の整備率が上昇した。しかし、平成の初期に整備した公園が30年経過し、改築が必要な公園が今後ますます増加することが見込まれる。そこで、昭和に整備した公園に加えて平成元年以降に整備した公園についても長寿命化計画に反映し、計画的な更新を行っていくことが必要である。
